

# ハミング



No.75

2016.5.27

## 基本理念

本院は診療・教育・研究を遂行する大学病院としての使命を有し、また患者さんの人権を尊重した先進的医療を行うとともに、次代を担う国際的な医療人を育成する。



撮影地：薄川

## 主な記事

- 新戦力! ~新規職員紹介~ ..... 2~3
- 放射線部技師長 着任の挨拶 ..... 4
- 栄養管理室室長 着任の挨拶 ..... 4
- 信大病院 院内学級中学部 (松本市立旭町中学校) 平成27年度活動記録 ..... 5
- 科学で解き明かす栄養 Evidence-based Nutrition ..... 6
- アメニティ紹介「フラワーランド恵里花」 ~季節の花が並んでいます~ ..... 7
- ご意見箱からの声 ..... 7
- 電話番号表・編集後記 ..... 8

## 新戦力! ~新規職員紹介~

新年度になり、たくさんの職員が信州大学医学部附属病院に入職いたしました。そんな新規職員の抱負をご紹介いたします。みなさんといろんな場面でお会いするかもしれませんが、どうぞよろしくお願いいたします。



初めまして。今年度より入職いたしました、作業療法士の岩井龍之介と申します。社会人として歩み始めたばかりで、期待や不安、戸惑いなど、様々な思いを感じています。新しいことばかりで、まずは慣れることに精一杯の毎日ですが、一人の作業療法士として、目の前の患者さんが抱えている生きづらさ・困難さをくみ取り、患者さんが望んでいること、また、諦めてしまっているような思いを引き出し、自分らしく、主体的な社会生活を送ってもらえるような支援を実践していきたいと思っています。他の医療スタッフとの連携を大切にし、質の高い医療サービスを提供できるよう、学び続けていこうと思います。よろしくお願いいたします。

リハビリテーション部 作業療法士 **岩井 龍之介**

今年度より信州大学医学部附属病院に薬剤師として入職いたしました。新人薬剤師として先輩方のご指導の下、業務を覚えていく中で、人の命を預かる医療スタッフとしての責任の重さや自分の勉強不足を実感しています。薬剤師は現在、薬剤部内での業務はもちろん、病棟、手術部、高度救命救急センター、がんセンターなど院内の多くの場所で職能を発揮しております。これから、特定機能病院という高度医療推進の職場で働いていく中で、自分に何ができるか、自分が何を求められているかを考え、ほかの医療スタッフの方と協力しながら、患者さんに寄り添い、信頼される薬剤師を目指していきたいと思っています。

薬剤部 **岩下 わかな**



この4月より信大病院の診療放射線技師として入職いたしました、岩原健吾と申します。私には、理想とする診療放射線技師像があります。それは、患者さんを第一に考え、安全かつ高度な医療を提供することができる診療放射線技師です。そのような技師になるために、私は患者さんの目線で物事を考え、日々、さらなる知識・技能を勉強することを心掛けていきたいです。

今は慣れないことばかりで、ご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、目の前のできることから着実にこなしていき、いずれは理想の技師となれるよう精進していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

放射線部 診療放射線技師 **岩原 健吾**

4月より研修医として夫婦で信大病院に勤務させていただくことになりました。学生時代に信大病院を見学させていただき、各診療科の先生方が高い志を持ち、患者さんの為に日々働いている姿を見て、信大病院を研修先に希望しました。大学病院で学べることは、市中病院とは異なります。高度な医療を提供すること、急性期の役割を担っていること、診療をしつつ医学教育や研究も行う機関であること。今年は、そういった大学病院でしか学べないことを中心に勉強しながら、様々なことに積極的にチャレンジしていきたいと思っています。他県出身、他大学出身の私達でも温かく迎え入れていただき、信大病院を選んで本当に良かったと思います。至らない点もありご迷惑をお掛けすることがあるかと存じますが、よろしくお願いたします。



1年目臨床研修医  
遠藤 千尋・遠藤 優希



4月より夢であった看護師として、この信州大学医学部附属病院に勤務させていただくこととなりました。幼い頃からの夢であった看護師になれた喜びと、社会人としての第一歩を踏み出した不安と緊張でいっぱいの中、何でも相談し合える大切な同期、西8階病棟の心強い先輩方のもとで多くの学びを得て、充実した毎日を送っています。まだまだ未熟な私ですが、患者さんの本来あるべき生活、待っているご家族の元へ1日でも早く戻れる看護ができるよう知識と感性を養い、看護師として、またひとりの人間として大きく成長したいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

西8階病棟 看護師 小島 知奈津

私はこの4月から臨床検査部の病理検査室で臨床検査技師として働き始めました。今は初めてのことばかりで、先輩方から丁寧に指導していただく毎日です。実際に業務を行う中で、大学での実習とは違う、患者さんの貴重な検体を取り扱うという緊張と不安はありますが、強い責任感を持って取り組んでいきたいです。今の目標は、早く一人でも業務をこなせるようになることと、細胞検査士の資格を取得することです。また病理の仕事以外にも、採血やRCPCなどの勉強も頑張りたいです。幅広い知識や技術を身につけたいです。検体の向こう側にいる患者さんのことを考え、迅速かつ正確な診断に貢献できる臨床検査技師になれるよう、日々努力していきます。よろしくお願いたします。



臨床検査部 布 麻里奈



この春より信大病院の看護師として働かせていただくことになりました。夕下豊です。第一希望であった手術部で働くことにとめどない不安を抱きつつもこれから経験する様々な出来事や出会い、充実した日々を期待しております。患者さんにとって手術は人生で何度も経験することではない特別な場面、そして人生の転機となりうる場面だと思います。その場面に立ち会う看護師だからこそ、患者さんの気持ちに寄り添う看護を行いたいと思います。特に手術中、声を発することの出来ない患者さんの代弁者としての役割を担いたいです。はじめは学ぶことも多く、ご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、日々精進していきたいと思しますのでよろしくお願いたします。

手術部 看護師 夕下 豊

## 放射線部技師長 着任の挨拶

放射線部 谷口 正洋

平成28年4月1日付けで放射線部の診療放射線技師長を拝命いたしました谷口正洋と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。



私は、京都の出身で京都放射線技術専門学校を卒業し、京都大学医学部附属病院放射線部に採用

され35年間在籍しました。在籍中は、技師の教育と放射線診療の安全管理を担当してきました。昨年7月に信州大学医学部附属病院放射線部に副診療放射線技師長として採用され、この4月より診療放射線技師長を務めさせていただいております。

放射線診療は日進月歩の領域で、私が学生時代に学んだ技術は、今は歴史として語られるような時代となり、技術の進歩は凄まじいものがあります。1895年にX線が発見され、そこから放射線診療はスタートします。放射線診療を大きく変えた最先端の検査には、CT検査、MR検査、そしてPET検査などがあります。CT検査は、1975年に国内で1号機が設置され、当時、脳神経外科領域の診療に大きく貢献をしました。CT

画像は、硬い頭蓋骨や身体を開けることなく脳や各種臓器の状態や腫瘍などを描出でき病気の診断ができません。MR検査は、1980年頃から普及しました。各種臓器の画像コントラストが素晴らしく、人体の解剖図に近い画像が撮れます。PET検査は、1990年頃から普及し始め、2002年にFDG-PETが保険適応となり、全身を対象とした腫瘍の診断を可能にしました。余談になりますが、X線の発見・CTとMRの原理の発明には、ノーベル賞が授与されています。

このように放射線診療は、各診療科の発展に歩調を合わせるように進歩してきました。今では、各診療科の診療にはなくてはならない診療部門であると自負しております。これからも私たち放射線部は、各診療科の診療に貢献できる部門であり続けたいと考えております。患者さんにおいては、常に笑顔をもって対応し、検査・治療が終わって「ありがとう」と素直に言っただけのような身近な存在であること、そして、最先端の放射線診療の技術や技能をもって、安心して安全な検査・治療を受けていただけるように、最高の放射線診療を提供できる放射線部であるよう日々務めてまいります。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 栄養管理室室長 着任の挨拶

臨床栄養部 座光寺 知恵子

平成28年4月1日より信州大学医学部附属病院臨床栄養部でお世話になっております管理栄養士の座光寺と申します。食を通して先進的な医療に貢献し、さまざまな食事サービスを提供している信州大学医学部附属病院での勤務に身の引き締まる思いがいたします。



私は駒ヶ根の出身で、学校を卒業後篠ノ井総合病院に勤務し、その後昭和伊南総合病院に勤務させていただきました。篠ノ井に在籍していたころは腎臓病用のでんぶん米が開発された時期で低たんぱく食に力を注いでおりました。昭和伊南総合病院では糖尿病教室や嚥下調整食・経腸栄養を担当させていただき、

患者さんを通してよりよい方向をより楽しく探ってきました。10年ほど前に栄養サポートチーム（他職種で最良の栄養療法を支援するチーム）に出会いその立ち上げにも携わってきました。最近ではがん化学療法の味覚障害の研究をして、がんと食事についてはまだまだ解明されないことが多いと感じております。

信大病院では規模の大きさ、食数の多さに圧倒されながらも、きれいに清掃された広々とした院内で、環境の整った設備で働けることを大変ありがたいと感じております。食事は治療の根底にあり栄養状態の善し悪しで治療効果が違ってくることがあります。臨床栄養部では治療を栄養の面から支援していますし栄養療法そのものが治療そのものであることもあります。私も早く仕事や地域に慣れ信州大学医学部附属病院に貢献していきたいと思っておりますのでどうぞよろしくご指導のほどをお願いいたします。

# 信大病院 院内学級中学部 (松本市立旭町中学校)

## 平成27年度活動記録

院内学級中学部 加島 奈津子

院内学級には小学部と中学部があります。病棟の9階のエレベーターを降りて、西棟に向かってまっすぐ進むと「院内学級」の看板が見えてきます。



教室の前の廊下には院内学級の児童生徒が書いた書道の作品や絵画の作品等が飾ってあります。廊下の奥には図書スペースもあり、院内学級の児童生徒はいつでも借りることができます。



中学部では毎日約10人の生徒たちが院内学級を利用しています。9階の教室に登校できる生徒は仲間と関わり合いながら学習を進めます。ボランティアの方々も来てくれて、学習をサポートしてくれることもあります。英会話や音楽ボランティアの方々と、時間内いっぱい一生懸命学習に取り組みます。

その中でも、特に生徒たちに人気なのが、月に一度の書道ボランティアの先生による書道教室です。半紙に書いたり、大きな紙に書いたりします。大きな紙に書く時は、墨しぶきあげながら、ダイナミックに書けるので、病棟で活動が制限される院内学級の生徒たちにとってはストレス発散の時間となります。

年に数回、県信濃美術館の学芸員さんが「お出かけ美術館」という活動を行ってくださいます。大きな額に入った作品を持って来て説明をしてくださったり、制作活動を行います。昨年度は顔彩を使って、絵手紙を制作しました。



毎年、お料理研究家の山本麗子先生が各学期1回ずつお料理教室を開催していただきます。昨年度は生徒たちのリクエストに答えてくださり、チャーハン、餃子、ラーメンなどの人気メニューと一緒に作りました。おいしいお料理とみんなといられる楽しい時間に思わず笑顔がこぼれます。



12月に小児病棟主催のクリスマス会があり、小学部と中学部の合同で「星に願いを」を合奏し、「ビリーブ」を合唱しました。小児病棟では、お花見、夏祭り、元気の窓、クリニックラウン、ハロウィン、節分などいつも楽しい行事を企画してくれるので、子どもたちがとても楽しみにしています。

院内学級にはたくさんの笑顔があふれています。でも、みんなそれぞれ重い病気や辛い治療を乗り越え、がんばって院内学級に通ってきてくれています。だから院内学級の先生たちはいつでもどうやったら院内学級の子どもたちが笑顔になってくれるか考えながら一緒に過ごしています。それが元気のもとになると考えているからです。

院内学級にはたくさんの笑顔があふれています。

でも、みんなそれぞれ重い病気や辛い治療を乗り越え、がんばって院内学級に通ってきてくれています。だから院内学級の先生たちはいつでもどうやったら院内学級の子どもたちが笑顔になってくれるか考えながら一緒に過ごしています。それが元気のもとになると考えているからです。

「みんなつながっているよ。」

これは昨年度、中学3年で白血病を発症し、治療を受けながらがんばって勉強して骨髄移植を受けた後、高校に見事合格し、進学を果たした生徒のお母さんが一生懸命描いてくださった作品です。もし、院内学級の子どもたちの笑顔のために何かできることがあれば、院内学級職員にいつでも声を掛けてください。支え合い、励まし合いながらつながっていくことがみなさんにとっても院内の子どもたちにとっても励みになりますように！



# 科学で解き明かす栄養

## Evidence-based Nutrition

臨床栄養部

### 第1回 EBNとは何なのか？

いったい何を食べればいいのか？科学で解き明かす

#### 1. 何を食べたらいいのでしょうか？

皆さんは、何を食べたらいいのか迷ったことはありませんか？いったい何を食べたらより良いのか？はたまた、何を食べたらいけないのか？巷には、真実の情報から、真実味を帯びた情報、噂まで、食べ物や栄養に関する情報が氾濫しています。「カルシウムが不足するとイライラする」、「牛乳を飲まないで背が伸びない」など、根拠はあやふやですが、もはや疑いようのない定説じみたものまであります。こうした巷の情報に惑わされて、食べ物や栄養が健康や病気に与える影響を過大に信じることをフードファディズムといいます。患者さんの立場からすれば、少しでも良くなりたいという想いから、色々な情報を収集するという事は、まったく不思議ではありません。しかし、巷の情報は玉石混交です。正しく取捨選択し、正しく理解していく必要があります。そしていま、その責任は情報の最終消費者である、患者さんに求められているのです。



#### 2. EBMとEBN

EBMという言葉やエビデンスという言葉を知っていますか？EBMとはEvidence-based Medicineの略です。日本語に訳すと、根拠に基づく医療です。エビデンスとは、根拠のことを指します。従来行われていた医療は、医療者の経験に基づく医療が主流でした。しかし、そのことで、最善の治療が行われていた

かという疑問が残りました。そこで、登場したのがEBMという考え方です。研究で明らかになった根拠（エビデンス）を積極的に利用して病気の診断や治療を行っていかこうとする考え方です。EBMは1991年にカナダのGuyattによって提唱された概念で、現在の医療では主流の考え方にまで発展しています。栄養の分野においてもこの考え方が進み、根拠に基づく栄養（Evidence-based Nutrition）が求められるようになりました。



#### 3. エビデンスとは

実はここで指すエビデンスには、動物実験や試験管での細胞実験は含まれません。なぜなら、動物や細胞での実験結果が人に適用できるかという保証はないからです。ここでいうエビデンスとは、あくまでも「人間集団を対象とした研究」から求められた研究結果のことを指しています。こうした研究のことを学術的には“疫学”といいます。この疫学や栄養に特化した疫学（栄養疫学）で明らかにされた結果をこのシリーズではご紹介していきます。巷に溢れる玉石混交の情報を栄養疫学で正しく解き明かしていきたいと思えます。ご期待ください。



# アメニティ紹介「フラワーランド恵里花」 ～季節の花が並んでいます～

フラワーランド恵里花・信大店は、平成16年にオープンし、平成26年7月に病棟玄関から現在のタリーズコーヒー向かいに移転しました。店舗の奥にはウッドデッキ「きらめきの空間」が広がっており、患者さんやご来院された方々が、季節の花々を見ながら憩う場としてご利用いただいております。ミニブーケやアレンジメントなど、ご自宅用からお見舞い、贈り物な

ど各種取り扱っておりますので、どうぞお気軽にお立ち寄りください。



## フラワーランド恵里花

営業時間 平日/8:30~17:30

電話番号 ☎0263-37-2878

## ご意見箱からの 声

**Q** 外来棟の女性トイレ側の「車いす用トイレ」(多目的トイレ)は、男性が利用してもよいでしょうか。



**A** 貴重なご意見ありがとうございます。ご不便をおかけいたしまして、大変申し訳ございません。

本院にごございます「多目的トイレ」につきましては、車いすを使用している方だけでなく、ご高齢の方、障がいのある方、子ども連れの方が、安心して利用できるよう、十分な広さがあり、手すりやおむつ替えシート等を備えた多目的なトイレです。このトイレに男女の区別はありません。

したがいまして、ご質問のありました外来棟の女性トイレ側の「多目的トイレ」につきましては、男性が利用しても構いません。また、男性トイレ側の「多目的トイレ」につきましても、女性が利用しても構いませんので、お気がねなくご利用いただけますよう、よろしく願い申し上げます。

# 電話番号表 (市外局番 0263) 代表番号：35-4600

## 【診療科外来】

南 1 階	小児科	37-2776	南 3 階	眼科	37-2789	リハビリテーション部(理学療法)	37-2836					
	遺伝子診療部			耳鼻いんこう科	37-2791							
	先端心臓血管病センター			産科婦人科	37-2793			リハビリテーション部(作業療法)	37-3399			
	循環器内科			皮膚科	37-2778					通院治療室	37-2552	
	整形外科			消化器外科								
	脳神経外科			移植外科								37-2781
総合診療科	小児外科	37-2783										
南 2 階	呼吸器・感染症・アレルギー内科	37-2768	北 2 階	呼吸器外科		37-2831	高度救命救急センター					37-2222
	消化器内科			乳腺・内分泌外科				37-2846	胸痛センター			
	血液内科			形成外科	37-2803							
	腎臓内科			精神科						37-3381		
	脳神経内科			子どもこころ診療部							37-2787	
	リウマチ・膠原病内科			泌尿器科								
糖尿病・内分泌代謝内科	特殊歯科・口腔外科	37-2796										
内科総合外来												
放射線科												

## 【医事課】

収 入 係	37-2763
入 院 係	37-2759
外 来 係	37-2757

## 【医療支援課】

患者サービス係 (診断書・労災)	37-2762
---------------------	---------

## 【病棟スタッフステーション】

西病棟		階	東病棟	
【先端心臓血管病センター】 循環器内科	37-2777	8階	糖尿病・内分泌代謝内科 乳腺・内分泌外科	37-2769
脳神経内科、脳神経外科 リウマチ・膠原病内科	37-2774	7階	消化器内科、血液内科 腎臓内科	37-2771
皮膚科	37-2788	6階	【呼吸器センター】 呼吸器・感染症・アレルギー内科 呼吸器外科	37-2784
消化器外科、消化器内科 移植外科、小児外科	37-2782	5階	眼科、脳神経外科 麻酔科蘇生科	37-2790
産科婦人科 新生児科(NICU・GCU)	37-2772	4階	小児科 婦人科	37-2794
精神科 子どもこころ診療部	37-2775	3階	整形外科	37-2786
放射線科、消化器外科、移植外科 小児外科、特殊歯科・口腔外科、RI 信州がんセンター、救急科	37-2780	2階	耳鼻いんこう科 形成外科	37-2792



### ☆相談窓口☆

受付時間：月～金（祝除く）  
9時～16時

くすりの相談室	37-3013	地域医療連携支援室	37-3370
総合医療相談室	37-3370	難病相談支援センター	34-6587
がん相談支援センター	37-3045	難聴児支援センター	34-6588
セカンドオピニオン外来	37-3111	肝疾患診療相談センター	37-2922
先端細胞治療センター (分子細胞診療室)	37-3220		

## 編集後記

信大病院21Cが現在の「ハミング」として発刊されたのはNo.51、2009年4月（「新外来棟オープン」特集号）でした。今回のNo.75は8年目の「ハミング」となります。信州大学DMATの活動について（No.56、2010.10）、東日本大震災に係わる本院の取り組みについて（No.58、2011.5）、“信州ドクターヘリ松本”が離陸しました！（No.60、2011.12）、信州がんセンターのご紹介/ロボット支援腹腔鏡下手術について（No.64、2013.6）、総合診療科開設！～「地域を診る」医師を育てる（No.67、2014.5）、立体駐車場が完成・オープンしました（No.73、2015.12）。これらは一例ですが、これまで「ハミング」は信大病院の歩みを確実に記してきました。今後も前進を続けていく信大病院、そして「ハミング」にご期待ください。（医療情報部 浜野 英明）

あなたの自慢の写真で「ハミング」の表紙を飾りませんか？ 写真を募集しております！

お名前・写真のタイトルをご記入の上、  
**byouin\_soumu@gm.shinshu-u.ac.jp**

へお送りください。  
写真は2MB以上5MB未満のjpgデータ

【お問合せ・応募宛先】

信州大学医学部附属病院 総務課 総務係  
TEL：0263-37-3410 ※応募はメールのみ受付